集中ロック（2ドア用/3・4ドア用）〈24ボルト用〉

取扱説明書

集中ドアロックキット　２ドア用　　MODEL 46-OPCL2-24
集中ドアロックキット　３・４ドア用MODEL 46-OPCL4-24

本製品は生産後出荷前にダブル動作チェックをし、万全の状態でお客様にお届けしています。取付に関しましてもこの説明書をよくお読みになって破損や事故のないよう十分注意していただくようお願い申し上げます。

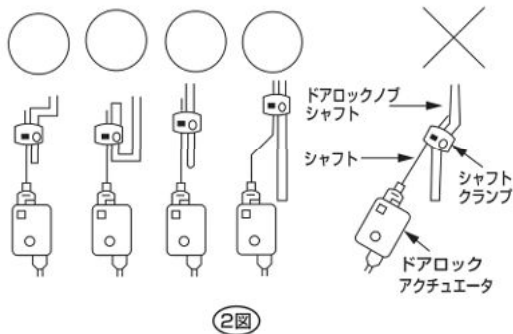
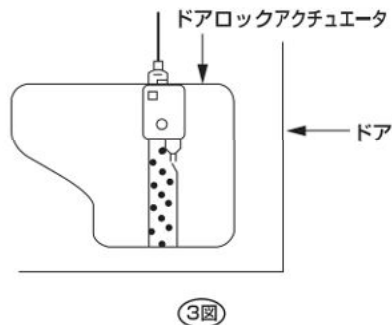
⚠ 取付前の注意

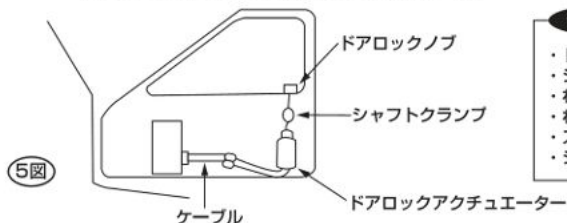
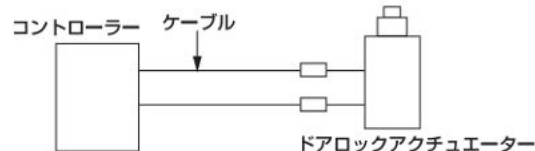
●本製品は原則として、開封、使用後の返品には応じられません。また取付の際、万が一製品及び車両の破損、事故等が発生しても一切責任を負いません。取付の際は十分注意してください。
●本製品を取付ける前に、必ずテスターで車両および本品の特性をチェックしてから作業を行ってください。配線を間違えると破損や故障する場合があります。配線ミスによる破損、故障は有償修理となります。
●配線作業中は事故防止のため、バッテリーのマイナス端子を外してください。 また製品の中には延長コード、ギボシ等は含まれておりません。

⚠ 使用上の注意

●本品を落としたり、物にぶつけたりすると不備、故障の原因となります。また、水漏れ、湿気は厳禁です。また過度の暑さや寒さを与えると作動しなくなることがあります。
●本品を本来の目的外に改造された場合や、分解、外国で使用した場合の責任は一切負いません。

【取付方法】

1. ドアの内張を外す。
（かくしネジ等は車ディーラーの整備マニュアルを見ると便利です。）
2. ドアロックアクチュエーターの装着位置を決める。（2図）
●アクチュエーターとドアロックのクランクシャフトを平行にする。
●可動部がスムーズに動くようにする。
●アクチュエーターが他の物（ガラス等）に当たらないようにする。
3. アクチュエーターをネジ止めで固定する。（3図）
（固定するドアフレームのない場合は、プレートを利用する。）
4. 長さを調整して、シャフト同士をシャフトクランプで固定する。
●アクチュエーターのストロークとクランクのストローク差が片寄らないように調整する。（片寄っているとモーターがやがて焼けてしまいます。）
●シャフトクランプのネジ締めを確実にする
（クランプをねじ切らない程度に締める。ネジ切りの場合、パーツは有償となります。）

2図　　3図

5. 延長ケーブルを、ドア側より他のドア側に配線して接続する。（5図）
●アクチュエーターの取付け方法により配線が逆になることもある ので、キーレスの送信機やドアスイッチを操作して、指令通りに動作するか確認する。

●手動にてドアノブを操作すると、リンク機構が外れて送信機からの操作と連動しないことがあります。その場合、現在のドアノブの状態と同じ方向にキーレス送信機より操作して、それから次の操作を行ってください。

取付上の注意

―――― モーターがうまく作動しない時は、次のことが考えられます ――――

1. 配線接続のゆるみ
2. モーター取付の際のストロークの片寄りから生じる半ロック状態
・モーターのリンク部分に負荷がかかっていない状態で作動させると半ロック状態になり、一時的に動かなくなることがあります。
・2はモーターの破損をさせることがありますので、充分注意してください。また、継続して電気を導電させるとモーターは焼き付いてしまいます。

※2のテスト方法
モーターを固定し、モーターのリンク部分にある程度負荷をかけた状態で、緑/青、2本の線の片側をアースに落として反対側に 24ボルトを一瞬導通させてください。（導通を継続させるとモーターが焼けてしまうことがあります。）
これを交互に繰り返し、作動すればモーターは正常です。この場合、取付けたクランプの接続位置をずらして正常作動する位置にしてください。

●プレートは車種により取付スペース・位置が異なるため、同梱のものにこだわらず、市販の物でそれぞれの車にあったものをお使いください。
●シャフトクランプを締めすぎて破損させないようにしてください。
●シャフトを何回も曲げますと、折れやすくなるのでご注意ください。

2014SEP